

我孫子市 生涯学習推進計画策定部会 第7回会議

開催日時：平成28年2月26日（金） 午後2時から3時まで

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：（出席委員）増田委員、渡辺委員、飯牟礼委員、岡本委員、森委員、藤原委員
深津委員、足助委員、小幡委員、鈴木委員

（事務局）加崎、山田、若菜

議 題：1. 教育長挨拶
2. 生涯学習推進計画について
3. その他

【事務局】 皆さん、こんにちは。本日は、第7回目の生涯学習推進計画策定部会という形で開催になりますが、今までに6回開催してご協議いただいた内容やあびこ楽校協議会、社会教育委員会議など皆様からご意見をいただいたものを盛り込みまとめさせていただきました「報告書」が出来上がりましたのでご報告会という位置づけにさせていただきたいと思います。今後は、イラストを挿入し、文言等の確認をしてから印刷していく予定です。

それでは、ただいまより第7回の生涯学習推進計画の策定部会を開催させていただきます。

まず初めに、本日は最終回になりますので、教育長からご挨拶をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【教育長】 皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中お越しくださいます誠にありがとうございます。

今、司会からお話をいただきましたが、昨年の6月5日に第1回を開いて以来、5回の協議をしていただきました。それで、改訂版をいただいたのですが、イラストの挿入が少し遅れているということですが、中には写真も入ってとてもわかりやすい計画ができ上がったと思っております。皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

こちらの計画そのものはどちらかと言いますと、市長部局の根本となる基本計画とな

りますので、本来は市長がご挨拶すべきところなのかもしれませんが、今日は、市長に代わりご挨拶させていただきます。

ご存じのとおり、国の教育委員会制度そのものが変わりました。それにあわせて我孫子市の教育委員会も変わりました。教育長及び教育委員長の一元化ということで、新教育長として私もなってから、市長と早急に会議を開いたり、総合教育会議の場で大綱を策定したりという流れの中で、教育の振興基本計画をおつくりいただいています。こちらの第三次生涯学習推進計画は、教育振興基本計画と並んで、教育の大綱の中の二本柱と位置づけさせていただきます。

ですから、この計画そのものは、教育委員会にとってもとても重要なこれからの生涯学習をどういうふうにしていくかという、とても大事な基本計画となります。この策定された計画を、これからはどういうふうに位置づけをしていくかというのが、私どもに課せられた使命かなと思っております。

今後は、それぞれの担当課と諮りながら、具体的な実施計画に向けてということになるかと思いますが、この趣旨は、先ほど申しました教育振興基本計画の中に当然趣旨が生かされております。ですから、両方の中で生涯学習をどういうふうにしたらいいかを、ある意味重なりながらもそれぞれの立場で生涯学習を進めていくという内容になっております。

我孫子市の教育方針としましては、「個性を尊重し、互いに学び合う、生涯学習の実現」、それについてどういうふうにしていくかというところです。今回の計画につきましては、平成28年度から10年間の方向を示すこととなりますので、この10年間の中でとても重要な方針が示されたと思っております。

特に、この間の議会でもお話がありましたように、推進体制がここで大きく変わります。そういうことについてのご提言もいただきました。従来の生涯学習に対しての体制と社会教育ということでの二本立てだったものを一つに整理をして、集中的に一つの方針を持ってやることはとても大きな変化と思っております。

そういうものを含めて、今後、新しい推進体制を含めて一緒になって頑張っていく所存でございますので、ぜひいろいろな形でのご提言なり、あるいはご意見をいただければ幸いです。

本当に6回にわたりまして、真剣なご討議をありがとうございました。ここに感謝申し上げます。

【事務局】 どうもありがとうございました。なお、本日、教育長は議会中のため所用がございしますので、申しわけございませんが、これにて退席という形になります。

【教育長】 申しわけありません。実質的な討議に加わらなくて、こういう形ですが、報告は逐一聞いております。ぜひともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【事務局】 続きまして、議事の進行につきまして、部会長からお願いいたします。よろしく願いいたします。

【増田部会長】 それでは、本日配布いたしました、第三次生涯学習推進計画の説明を事務局よりお願いいたします。

【事務局】 前回の12月4日の第6回会議後の経過を、ここでご報告させていただきたいと思います。

12月4日に第6回の策定部会での意見を反映させていただいた後、12月25日に教育委員会議におきまして、こちらの計画案をご審議いただきました。

その後、12月25日から1月22日まで、市民のご意見をいただくということで、パブリックコメントの実施をさせていただいております。約1カ月間、意見を募集したのですが、市民からのご意見はありませんでした。

その後、1月28日になりますが、生涯学習推進本部の幹事会を開きました。翌1月29日にあびこ楽校協議会を開いております。

その後、実施計画をつくる内容ということで、1月25日から2月の中旬にかけて生涯学習関連事業の調査を市役所の全庁的にかけております。まだこちらにつきましてはまとまりきっていないのですが、今後実施計画を4月にはつくり上げていこうと考えています。

それと、2月8日になりますが、市議会の教育福祉常任委員会委員に対する勉強会ということで、この計画書の説明をさせていただいております。

2月9日には、市長、副市長と協議をさせていただき、2月12日に生涯学習推進本

部会議におきましてご承認をいただき、計画書がまとまりました。

その後、先ほども申しましたが、見やすく、読みやすい形ということで、文字体を変更したり、写真を挿入するなどレイアウトを整えさせていただいております。

それともう一点、本日配布資料に「計画書の概要版」があったかと思いますが、今回はこの計画書を簡単に読みやすくということで、概要版を作成しました。

この件につきましては、若菜から説明をさせていただきます。

【事務局】 それでは、お手元にあります概要版を出していただきたいのですが、12ページだてになっております。

今回はこの計画の根本の精神は何かということで、委員の方々のお言葉ですと、憲法であるとか、理念法であるということで、10年にわたる長期の骨格を示すものでなくてはいけません。そのためには、計画書の骨になる部分は全部網羅したほうがいいだろうということで、その場合、大体12ページだてにするケースが多く、その数ページの中に、一番中核的な部分を全て盛り込むという形で作成しています。

もちろん、全部の要素は入れられないのですが、骨の部分と言うのでしょうか、理念の方向性、何をやっていくか、どういう理念でやっていくかということ全体をわかる形を想定しています。

それから、計画書はモノクロですが、この概要版はフルカラーの予定です。

それから、冒頭のところでイラストということで、表紙のデザインをデザイナーにデザインさせています。イメージ的には木が中心にあって、その周囲を委員の方々のお言葉を借りれば、子どもから高齢者まで全部かかわっている様子を考えています。

木は成長するイメージですから、学びながら成長するというイメージが取れますし、その周囲をお子さんから年配の方まで全員が皆で学んでいる姿を入れていこうというイメージでつくっております。これは、今デザイナーが考え中ですので、でき上りを楽しみにしていただきたいと思います。

1ページおめくりいただいて、ここは計画策定の趣旨ということが入っています。それから右のページには、基本理念ということで、全体を踏襲している3つの理念。それから、今回の計画の基本方針である部分。活かしていくという部分、つながっていくという部分をアピールする部分を入れております。

それから1ページおめくりいただいて、計画の位置づけということと、それから計画

の期間。計画書ですと、計画の期間を他の隣接計画、関連計画を全て網羅しておりますが、概要版ということでシンプルに計画の基本を掲載しています。

それから基本目標が5本あるということで、5本の文言とそれから、それに伴った施策の部分のポイントが書かれているのがこのページになります。

それから1ページおめくりいただきますと、計画の体系図ということで、個々の理念、それから個々の方針、それから基本目標、それから施策に至るまで、全体の骨組みが見開きで見通せるようにここで工夫しています。

今、割付の段階で中心の部分がちょっと欠けておりますが、これは完成時までに入れるような形でレイアウトしますので、それはご心配ないと思います。

それから7ページをお開きいただきたいんですが、これは計画書でいうと施策の詳細という部分です。計画書の中には、現状もあれば課題もあり、いろいろな要素が網羅されていますが、今回は概要版ということで、何を載せるかといった場合に、理念、基本方針、そして方向性であるということで、各基本目標ごとに、計画書の中に施策の方向部分の方向性と、それを補完する文章を全て網羅するという形で、7ページから8ページ、8ページから9ページにかけて、基本目標ごとの施策の方向性を全て掲載する形になっています。

先ほどの施策体系、見開きのものと、この数ページをご覧になると、具体的にどんな方向性で、どんなポイントに絞って我孫子市が生涯学習に取り組んでいるかという骨の部分、骨格的な部分はイメージできるかなと考えております。

それから、計画の推進体制というのが最後から2ページ目のところです。これはイメージ図を入れて、全体の計画の推進体制、先ほど教育長から話がありましたように、推進体制の重要性がありましたので、その部分をきちんと入れるということです。

1ページおめくりいただいて、最後のページでは、単に計画をつくっただけではなくて、進行管理も重要であるというご指摘もありましたので、推進体制とあわせて進行管理まで入れる形のつくりになっております。

以上、雑駁な説明で恐縮ですが、12ページの内容についてご説明させていただきました。以上です。

【事務局】 今後ですが、表紙ですとか、文中にイラストを挿入させて印刷をかけていく形になります。本来、本日、皆様に印刷できた完成版をお渡ししたかったのですが、申しわけございません、間に合いませんでした。3月下旬から4月上旬には皆様に正規に

印刷した計画書を配布をさせていただくという形を取らせていただきますので、申しわけございませんがご了承ください。

それと、今後の生涯学習の推進につきまして、ご協力をお願いできればと思います。事務局からは以上です。

【増田部会長】 ただ今、説明がありました第三次生涯学習計画の概要版について、何かご感想か何か一言お願いしたいのですが、いかがでしょうか。小幡委員、いかがですか。

【小幡委員】 文字がとても見やすく、読みやすいと思います。

【増田部会長】 イラストとか写真はいかがですか。

【小幡委員】 白黒ですが、とても場所もわかりますし、いいと思います。でき上がりはこれと同じものですよ。写りぐあいというか。これよりもっときれいになるんですか。

【増田部会長】 若干よくなります。モノクロなので限界はありますが。

【小幡委員】 印刷というか、製本してもモノクロでも、わかりやすいです。

【増田部会長】 足助委員、いかがですか。

【足助委員】 結構でございます。

【深津委員】 電話番号が「1151」ですが、生涯学習課は「1602」ですよ、これはなぜ違うんですか。

【事務局】 「1151」は、教育委員会の代表の番号になります。「1602」は、生涯学習課企画調整担当の直通番号になりますので、生涯学習課だけではなく、他の担当の課もあるかと思ひまして「1151」を入れさせていただいております。

【深津委員】 イラストですが、できれば今日見たかった。パッと見で人の直感が大事な
なので。

【増田部会長】 イラストについての意見は反映できません。今のうちにこんなイラスト
がいいとかというご意見があれば、お願いします。

【深津委員】 なるべく生き生きとした生涯学習が伝わってくればと思います。

【増田部会長】 デザイナーに伝えておきます。

【深津委員】 中身は、皆さんから出された意見が反映されていて、写真も入っていて、
良かったと思います。字も見やすいです。

【増田部会長】 藤原委員、いかがですか。

【藤原委員】 非常に良いものができたと思います。

【増田部会長】 森委員、いかがですか。

【森委員】 はい。これはどこに置きますか。図書館とか。

【増田部会長】 市役所全課に配布するのと、図書館や行政資料室、公民館などにも。

【森委員】 そこで一般の人は見られるのですか。

【増田部会長】 見られます。

【事務局】 今のでよろしいでしょうか。ホームページにも出していきますので、イン
ターネット環境をお持ちの方でしたら、ホームページでご覧になることができます。

先ほど、若菜からモノクロという話がありましたが、この生涯学習推進計画書も色は

使っていますので、この冊子で見るとよりは逆にホームページで見ていただくとカラーの部分もありますので、より見やすくなっていると思います。

こちらにつきましては、おそらく3月の下旬から4月にかけて市役所のホームページ上にアップをしていく予定ですので、もうしばらくお待ちください。

【森委員】 これはPDFで取れるんですか。

【事務局】 ホームページにアップするときにはPDF化しますので、そこからプリントアウトをしていただくことも可能になります。

【増田部会長】 岡本委員、いかがですか。

【岡本委員】 いいんじゃないですかね。冊子はカラーですか。

【事務局】 ごめんなさい。計画書の冊子は白黒です。概要版はフルカラーでつくる予定です。

【増田部会長】 飯牟礼委員、いかがですか。

【飯牟礼委員】 イラストがたくさん入っていますし、写真も随所に取りましたし、字だけだとどうしても気持ちがなかなか入っていきませんが、とてもわかりやすいものだと思います。

【事務局】 概要版のカラー印刷したサンプルでお見せします。全体的にオレンジ色を使った色合いになっております。

【増田部会長】 何かご希望がありましたら、ご意見をお願いします。

【渡辺委員】 冊子は白黒だということで、文字との関係もあっていいかと思います。ただ、一番後ろは「うなきちさん」ですよね。我孫子の場合、キャラクター「うなきちさ

ん」であったり、少しコミカルに見えるというのが。それはそれでいいですが、もう少しこちらの概要版は遊び心が欲しかったかなと思います。。

今見せていただいたので、大分オレンジ色でポップな感じがしましたが、このままだと少し遊び心が少ないかなという感じがしました。「うなきちさん」を使うにしても何にしても、もう少しそういう形のほうがとっつきやすいかな。

生涯学習でもあるので、規律正しいというよりは、少し遊び心があってもいいかなという気はしたのですが、これは私の意見です。

【事務局】 具体的に遊び心というのは、どのようなことか教えていただけませんか。例えば、「うなきちさん」をいろいろなページに、使うということですか。

【渡辺委員】 吹き出しとして出してくるとか。

【増田部会長】 場所を指定してもらえば。

【渡辺委員】 枠がカチカチになっているので、それもあって少しかたいかなというイメージがあったので、そういうイラストを使ったり、もう少し遊び心があったほうがいいと思ったんです。

【増田部会長】 他にございますか。まだ時間もありますし、せっかく来ていただいたので、何かございますか。

【渡辺委員】 これは関係なくて、これからまた新しく生涯学習審議会という形ができ上がってくればいいですが、事業計画から予算から、決まったものが今まで社会教育委員のときには見せていただいて、意見は言いますが、それを反映するのは1年後、2年後だったり、ものすごいスパンが長い形になってしまっ。

もう少し、まず、提出前に少し情報があると、もうちょっとこういうふうなところでやるやれないという話ができなければいいかなと思っているのと、もう一つ、計画ができて10年スパンの計画で、私たち社会教育委員をやっていて、社会教育関係の事業の情報が入り込んでこない。

ここにこういう事業をやっていますから、もしお時間があつたら見に来てくださいというように、どんどん情報で入ってくると、当然フルタイムの人は行けるわけではないですが、見直しのときに、ここの事業はこういうふうに良かったねというのが実際肌で感じられるんです。

それが、これから生涯学習審議会委員の人たちになるか、そこに意見具申をする委員のポジションをつくるかはわかりませんが、もしそういうところができるのであれば、ネットワークのいい人たちが、生涯学習の事業にどんどん行っていただいて、見ていただいて、それを反映していただけると、生涯学習推進計画が合致する。見直しにも役立つような形がとれるかなと思います。いかがでしょうか。

【増田部会長】 確かに事業を見ていただくのは良い事だと思います。

【渡辺委員】 私なども社会教育委員会をやらせていただくときに、総額の予算があつて、会議の回数がある程度決められてしまつて、そうではなくて、私たちはそうではないところで、ボランティアでもいいから見に行つて、それを実際肌で感じたいというのがあつたものですから、もっと情報が欲しい。

私は実際にいろいろな事業をやっていますので、実際行つていますが、行つていて他の社会教育委員の方々が顔を見せてくれることがほぼないです。余り学校の先生も見かけない。そういうところばかりに私が行つているのかもしれないけれども、そういう状態になっている。

もし、実際に意見を言えるところにそういう人たちが実際に来てくれば、もっともつと肌で感じられるところが上がってくるのかなという気がしたものですから、計画だつて文字だけでなくで。

【増田部会長】 事業を見て意見を言つていただくということですね。

【渡辺委員】 そう思います。予算だけではなくて、情報だけでもいただいて。そうすると、私この日は暇だからとか。当然、そういう大きな事業になれば、日曜日とか時間が空いている日が多いと思われまふので、もちろん自分で事業をやつていれば別ですが、どうしても時間が空いているときに、ぽつとできた場合、実際に行つて、見てみようという

形が取れる情報があると行けますので。わざわざ自分で我孫子市のホームページを開いて、情報をとってという形まではとれないので、情報をいただくと助かるなと思います。

【増田部会長】 他に何かございますか。深津委員。

【深津委員】 今話を聞いていて、このあびこ楽校の事業の情報は社会教育委員さんに入っていたんですか。

【渡辺委員】 終わった後で。結局、私のほうには前もって情報は入っていますが、逆に、社会教育委員の方は、こういうことがありましたというか。

【増田部会長】 毎回、開催する時期を決めてしまっていますので、例えば、2月から3月にかけての次年度の予算事業計画とか。それから、9月頃に中間報告など、そういう時期になってしまいますので、あびこ楽校協議会の事業については、事前に報告していなかったかもしれません。

【深津委員】 あびこ楽校協議会は、生涯学習事業としていろいろなことをやっていますが、やっているのはいつも同じメンバーですね。おっしゃるとおり、情報がなければ来ることもないし。市役所の方も余り来ないのかなというのもあって、やっぱりこれから私たちいなくなってしまうわけですから、ちょっと情報を市役所なり、委員さんの中で回していただいて、皆で盛り立てていかないといいものはできないと思います。いつも同じメンバーでやっていたなというのが、時々不満に思っていました。

【増田部会長】 あびこ楽校協議会でニュースの発行とか、あるいは子どもたちに事業をやる紹介とかいうのは結構やっていましたが、審議会等に情報発信はしていなかったと思います。

【深津委員】 これからどういう体制になっていくかわからないですが、ますます私たち市民とこの生涯学習が離れていくような気がしますので、これから考えていかないといけないと思います。

【増田部会長】 何か他にいかがでしょうか。森委員いかがですか。

【森委員】 今の生涯学習のいろいろな興味ある人は興味あって、いろいろ自分で調べたり参加したりしているわけですね。ところが、興味ない人は、猫に小判みたいなどころがあって、その人たちに首に縄をつけてしようとしても、なかなか難しいところがありますね。

その辺の皆が皆、同じではないから、浸透させようとしても一律には行かない気がしますよね。その辺が難しいのかなと思います。

【増田部会長】 興味を持たせるような講座なり、そういう機会を設けていく。なかなかそういう企画をするのが難しいですね。来ていただけるような企画を考えていかなければならないですね。

【深津委員】 その努力はしていかないとはいけませんね。

【増田部会長】 そのとおりです。

何か他にございますか。藤原委員、いかがですか。

【藤原委員】 特にございません。

【増田部会長】 足助委員、いかがですか。

【足助委員】 特にありません。

【増田部会長】 「心」については、依然として。

【足助委員】 心に響きますね。心に限らず、物ごとを変えるのは大変なことだと思います。国のレベルにいくと憲法が話題になっていますが、従来どおりのものをいろいろ変えることは本当に大変なことですね。

ですから、委員としていろいろなことを言いましたが、達成感よりもむなしさのほうが。

【増田部会長】 満足できる程度ではないという。

【足助委員】 それは個人的な意見ですから。これからの我孫子が、まちづくりのために指針が、それこそ文字どおりの指針になることを祈ります。

【増田部会長】 小幡委員、いかがですか。

【小幡委員】 平成37年度にどうなっているのかが楽しみですが、我孫子と言ったら文化的に発展している市だよねとか、そんなふうに言われるようになっているといいなと思っています。一人一人の意識が高まっていけばと思いますが。そのぐらいしか言いようがありません。

【増田部会長】 岡本委員、いかがですか。最後に一言。

【岡本委員】 今までのお話を聞いていて、我々もタッチしていながら十分わかっていないので、市民の方はもっとわからないのではないかと思います。

最初に情報提供体制の充実とありますが、広報とかを見て興味のある人は参加すると思うのですが、未だに広報は見えていない人もかなりいるんです。だから、いくらいいものをこしらえても、どうやって徹底するかが難しいと思います。

パンフレットをつくったとか広報に載っているとか、ホームページでやっているとか、提供するほうはされているんですが、受けるほうにはなかなか十分でない。この辺がどういう方法でやるのがいいかは難しいと思います。

さっき、カラーですかとおっしゃっていましたが、今見たら、オレンジ色だけだとちょっとね。やっぱり市民の方が気軽に見て楽しそうだな、ちょっと勉強してみようかなと思えるように、身近なものにするために努力するのがあるのではないかと思います。

【増田部会長】 どうですか。もっと楽しそうな色とか。

【事務局】 色ですか。先ほど言われた「うなきちさん」の吹き出しというご提案もあったかと思いますが、その辺につきましてはイラストも含めて考えていきたいと思います。

ただ、色をオレンジから何にすればいいのかがわかりませんし、オレンジプラス何色がいいのかというのものもあるかと思っています。それと、色弱の関係があって、赤と緑がだめとかいろいろな決まりもありますので、ただ色を多色使えばいいというわけでもありませんので、その辺につきましては、デザイナーの方とご相談させていただきながらつくっていききたいと思います。

【増田部会長】 飯牟礼委員、何か一言ございますか。

【飯牟礼委員】 すばらしい理念が入っています。10年後。縁起でもないですが私生きているのかなと思いますし。要するに、10年後、これが本当に具現化できたらすばらしいし、それを具現化するためにどのような方策が一番有効で、そして、生涯学習というのは、全員が望むべくもないし、それにかかわる人のパーセンテージを上げていく努力ではないかと思うので、これからどのような形でそれをお進めになるかわかりませんが、期待しておりますので、よろしく願いいたします。

【増田部会長】 鈴木委員、何か一言ございますか。

【鈴木委員】 今回は、いろいろなことを知る機会になって、知らないことが多かったです。私も学校の人間で教員なので、先ほど、教員は余りこういう生涯学習のイベントで姿がないというのは、そのとおりだと思います。

私も、青少年の相談員をやっていて、いろいろ批判されたこともあったので、ただ、自分も少年野球の指導者とかをやって、もう一杯一杯で、こちらがあることは知っています。情報はつかんでいますが、そこに参加する余裕もないというのが現状で、社会教育、学校教育をやってると、家庭教育がおろそかになったりしてしまうので、それぞれの生き方があるのかなと思います。

求めている人は探してでも行くし、我孫子は生涯学習や社会教育が盛んな地域であると誰かに聞いたり、ああそうなんだなと思ったのですが、皆さんの理想はもう少し高いと

ころにあるみたいですが、今学校でも、小中一貫教育をやっている、先行都市になります。埼玉県が10年前に初めて、非常にいい状態になっていて、そこが一つのビジョンになるのかなと思いますが、皆さんはどの市とか、どの地区がすごいとか、それを教えていただくと、私もイメージを具体的にできるかと思いますが、そんな感じになりました。ありがとうございました。

【増田部会長】 では、時間もそろそろ、いい時間になりましたので、最後に一言お礼を申し上げまして、この会議を終了させていただきます。

1年間、策定委員としてお力添えをいただき、ようやく、個人的にはいいものができたと思っております。皆様のお力添えでこういう結果が得られました。本当にありがとうございました。

これから、この計画を推進していきますが、その際にもご協力をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上で本会議を終了させていただきます。ありがとうございました。